

平成30年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	袖ヶ浦健康づくり支援センター				
施設担当課名	健康推進課				
指定管理者名	公益財団法人体力づくり指導協会				
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日（5年間のうち4年目）				
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 一部導入 <input checked="" type="checkbox"/> なし		※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設		

1 施設の概要

施設の所在地	袖ヶ浦市三ツ作1862番地12				
施設の設置目的	市民の健康増進のため				
指定管理業務内容	施設の維持管理、運動の提供と、施設の市民向け開放事業等				

2 利用状況

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
開館日数（日）	302	302	100.0%	298	101.3%
施設利用者数（人）	220,000	198,363	90.2%	201,760	98.3%
貸室（設備）稼働率（%）	—	11.2%	11.2%	11.2%	0.0%
事業開催数	0	4,684	4,684	4,346	107.8%

3 施設の経営状況

（単位：千円）

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
指定管理料	166,066	166,764	100.4%	165,603	100.7%
利用者当たり管理コスト	0.75	0.84	111.4%	0.82	102.5%
利用者当たり自治体負担コスト	0.75	0.84	111.4%	0.82	102.4%

[評価結果]

評価項目	評価基準	自己評価	担当課評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	B	B
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	B	B
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	A
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	B	B
(2) 利用[使用]料金	利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	B	B
3 保守点検並びに清掃等業務等			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	A	A
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	B	B
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	B
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	A
4 事業の実施に関する業務			
(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	A	A
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	A	A
5 個人情報取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	A
I の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12 個》	12個	A
* 指定管理者の自己評価	<p>○施設管理、適正利用の在り方、保守点検清掃環境美化、個人情報の取扱い及び事業の実施等においては、適切かつ効率よく実行した。</p> <p>○営業時間については試行継続（9：00～21：00）し指定事業、自主事業ともに利用者ニーズの把握に努め、利用者の健康づくり活動を円滑に支援すべく適切な運営を実施した。</p> <p>○施設設備管理においては、日々の点検、メンテナンスを適正に行っているものの、経年劣化による計画外修繕が多発し対応に苦慮している。今後も点検整備・事故防止に努め、異常発生時には、担当課と連携し安全衛生に配慮した施設管理を行う。</p>		
* 施設担当課の評価	<p>施設管理については適切に行われた。</p> <p>自主事業については、健康づくりのきっかけとなる事業を広く展開し、施設の目的に沿って積極的に展開されたが、4年連続して利用者数が落ち込んでいる。開場時間や使用料の値上げも影響の一因と考えるが、更に利用者数、収入共に増加に向けた対応を望む。</p>		
II サービスの質の評価			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	B	A
2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	B	B
3 運営業務 (貸出状況、接客対応等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	B	B
4 指定・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	A	A
II の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 4 個》	4個	B

様式5【指定管理者及び市作成】

* 指定管理者の自己評価	<p>○利用者から寄せられる意見について適宜対処し、適正な管理運営に努めた。また、利用者アンケートを実施し、その中で得られた利用者からの要望や苦情等についても随時検討し改善を図った。</p> <p>○指定事業・自主事業ともに施設の設置目的を果たすことができた。幼児学童層の教室が継続して好評で、また成人対象のスタジオ教室も受講者数が伸び、年間の延べ登録者数は前年比112.0%となった。自主事業においては、利用者ニーズに応え、平成30年度は34企画・6教室を開催し、健康づくり活動の実践の場として好評を得た。用品販売等の自主事業収益は昨年度比123.7%となった。</p>
* 施設担当課の評価	アンケート結果の意見は概ね良好であった。利用者の意見に対し、適宜対処し多くの利用者から高い評価であった。

総合評価		I・II を合わせた総合評価	自己評価	担当課評価
			A	A
総合評価に係る総括意見	指定管理者	各種協定書・募集要項・仕様書・計画書に則り適切な運営を実施した。		
	施設担当課	管理状況は良好で、各事業も協定及び計画に沿って実施された。		
その他特記事項(成果・改善等)	指定管理者	<p>第2次指定管理4年目の活動を終え、施設の延べ利用者数は予算未達となったが、運動教室の受講者数は平成29年度よりも増加(112.0%)しており、施設の存在意義を示せたものとする。今後も魅力ある運動教室を展開し、利用者の継続的な健康づくり活動を支援していく。</p> <p>平成30年度はアクアラインマラソンの開催に合わせた講習会を行い、好評だった。このような地域行事と連動した施設の活用を、今後も積極的に行う。</p>		
	施設担当課	30年度の利用者数が年間20万人を割り込み、4年連続して減少となっている。しかし、各教室の利用者数は増加となっており、積極的な事業展開は評価できる。今後は、利用者数と収入の増加に向けた取り組みを望む。また、高齢者のトラブルについて増加していることから、お風呂の入り方などについての周知など対応されたい。		

《評価区分》

①評価基準	<p>A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である</p> <p>B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である</p> <p>C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある</p> <p>D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である</p>
②総括	<p>A (優良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である</p> <p>B (良好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である</p> <p>C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である</p> <p>D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>
③総合評価	<p>A (優良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である</p> <p>B (良好) = 総括がすべてB以上である</p> <p>C (課題含) = 総括がすべてC以上である</p> <p>D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>